平成２３年１１月１０日

各　　位

会 社 名　藤倉ゴム工業株式会社
代表者名　代表取締役社長　　中　　光好
（コード番号5121 東証第1 部）
問合せ先　取締役管理本部長　　森田　健司
（TEL 03－3527－8111）

特別損失の計上及び第２四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

特別損失の計上及び平成23年５月12日に公表いたしました平成24年３月期第２四半期連結累計期間の業績予想値と本日公表した実績値との差異につきまして下記の通りお知らせいたします。

記

１．特別損失計上の理由について

理由につきましては、平成 24 年３月期第１四半期決算短信及び同日に開示した「特別損失の計上に関するお知らせ」と同様ですが、主な理由といたしましては、東日本大震災を要因とした災害による損失４６３百万円、また、大宮工場の閉鎖に伴う固定資産除却損として１６６百万円を計上したため特別損失が発生いたしました。

なお、詳細につきましては、平成 23 年８月 10 日に開示した平成 24 年３月期第１四半期決算短信【日本基準】（連結）２ページをご覧ください。

２．平成 24 年３月期第２四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異について

（平成 23 年４月１日～平成 23 年９月 30 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	12,000	240	240	△500	―
今回発表実績値（B）	13,354	256	81	△390	―
増減額（Ｂ－Ａ）	1,354	16	△159	110	―
増 減 率 （ % ）	11.3	6.7	△66.3	―	―
（ご参考）前期第２四半期実績（平成 23 年３月期）	13,586	1,069	988	568	28.92

３．差異の理由

当第２四半期連結累計期間における当社グループの業績は、国内市場では、シャフト事業および引布加工品事業において依然として市場の悪化が継続し需要が低迷しましたが、産業用資材事業では受注が回復傾向となり、アウトドア用品事業も好調に推移しました。また、海外市場でも中国・米国の需要が堅調に推移し、売上高は予想を上回りました。

収益面では、急激に進んだ円高の影響を受け、為替差損を営業外費用に計上し、経常利益は予想を下回りました。

これらに伴い、公表しておりました業績予想との差異が生じました。

以上